

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報誌

ななくり

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂
〒515-1295 三重県久居市大鳥町向広424-1 電話 059-252-1555 (代表)
ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/> FAX 059-252-1383

当院の理念・基本方針 職業倫理

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム管理部 中西幸喜

当院は9月に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審致します。

評価をうける内容としては、

- 病院組織の運営と地域における役割
- 患者の権利と安全の確保
- 療養環境と患者サービス
- 診療の質の確保
- 看護の適切な提供
- 病院運営管理の合理性
- 療養病床に特有な病院機能の項目に分かれ

大・小の項目を合わせると約800項目のチェック項目があります。

現在、三重県内には約100か所の一般病院がありますが、その中で病院機能評価を受審し認定証が交付されている病院は11か所で、当院も受審を期に、以下に示す理念、基本方針、職業倫理を守り、患者さまへの医療サービスの質の向上、職員の医療人としての資質の向上、施設面での療養環境の充実等を図って参りたいと思います。

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 理念・基本方針

理念

「独創一理」（注釈）の建学の精神に基づき、積極的に新しい医療を提供して、患者様から信頼される病院を目指します

基本方針

- ・科学性と専門性の高い独創的なリハビリテーション、緩和ケア、高齢者医療を追究することで、地域に貢献します
- ・患者様のお話を聴き、十分説明を行い、同意を頂いて医療を行います
- ・プライバシーの保護に努め、患者様の選択の権利を尊重します

注釈 独創一理とは 独創的な学究精神を堅持し、心豊かな人間性や連帯精神を育みつつ、真理を探究する

職業倫理

- 1 患者さまの生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を 尊重します。
- 2 患者さまの国籍、人種、信条、年齢、性別、社会的身分、 経済的状态にこだわることなく医療を提供します。
- 3 病院内で提供される全ての行為は、病院の利益のためでなく、患者さまの利益のために行います。
- 4 患者さまおよびご家族が、治療について理解できるまで説明と情報提供を行い、治療方法等を選ぶ権利を尊重します。
- 5 患者さまの個別性を重んじ、患者さまとの信頼関係を築くように努めます。また、患者さまからの意見を聞く態度を常に持ち続けます。
- 6 患者さまのプライバシーの権利を保護するために、個人情報の秘密を守り、患者さまに不利益にならないようにします。
- 7 全職員が職責に応じた知識・技術の研鑽、健康の増進につとめ、的確で最新の医療が提供できるように心掛けます。
- 8 医療従事者間の情報共有を適切に行い、チーム医療を有効に機能させます。

(3ページからの続き)

この廊下は、患者さんが部屋から出てきてご家族の方や他の患者さんと交流する生活の場所でもあります。他の患者さんが、訓練をしているところをみてもやる気になる方が増えます。しかし訓練をする場所がないと訓練をしたくてもできないとなりますが、この広い廊下には動く場所がたくさんあるのでいつでも好きなだけ訓練ができます。

できる限りたくさん訓練をしていただくために、なくてはならない廊下です。ぜひ、七栗サナトリウムにお立ち寄りの際は、正面玄関からは少々離れていますが、この廊下を見にきて下さい。以上が、FIT programで行っていることです。私たち、リハビリスタッフは患者さんの少しでもお役に立てるように、日々リハビリを追求しております。

リハビリテーション講座 No2 FIT programを御存じですか

リハビリテーションセンター理学療法士 新谷実伸

七栗サナトリウムリハビリセンターで行っているFIT program（フィット プログラム）を御存じですか

FIT programは2000年12月より新棟リハビリテーションセンター2階にて開始しているリハビリプログラムの名前です。今回はそのFIT programについてご紹介させていただきます。

FIT programの言葉の意味を解説すると以下のようになります。

では、FIT programとはなにを行っているのでしょうか。

FIT program

Full-time : 毎日、24時間のリハビリ

Integrated : 病室と訓練室が一体となった病棟

Treatment : 短い入院期間でできることを最大

1. 訓練頻度をあげています

リハビリは、病気により動きにくくなった動作を再びうまくできるようにしようとする取り組みをします。皆様も、例えば「字を書くのを上手になりたい」と思ったら何度も練習をし、何日も続けた経験があると思います。リハビリも同じことで、再び歩きたいと思ったら、毎日繰り返して練習することが重要であります。しかし、一般の病院では、土日祝日に病院が休みならリハビリは休み、訓練の時間だけがリハビリでそれ以外の時間は横になっているというのが普通です。リハビリのために入院している患者さんにとって、リハビリをしない日としない時間は無駄だと思いませんか。FIT programでは、その無駄な日と時間をなくし、毎日、一日中訓練を行っています。

しかし、一日中訓練といっても、訓練室に一日中いるわけではありません。リハビリでは、病棟での生活も訓練となります。例えば、「着替えをする」「トイレに行く」は生活の一部ですが、うまくできるように看護師が必要最小限の手助けをして、訓練室で覚えたことをできるようにすることはリハビリといえます。そうして、入院生活がリハビリとなり一日中訓練が実現するのです。このようにFIT programでは、訓練をできる限りたくさん行っています。

2. 患者さんそれぞれにあわせた訓練内容を提供しています

リハビリは病気により動きにくくなった動作を再びできるようにする取り組みをします。再びできるようにするためには、たくさん練習することに加えてもう一つポイントがあります。それは、少しずつ難しい訓練内容で行うことです。例えば、歩くことがもう一度できるようになりたいと思って、いきなり歩いても、手足が動かしにくい患者さんは転んでしまいます。そうならないように、杖をついたり、手すりを使ったりします。初めて自転車に乗る練習をする場合、補助輪を両方につけて行い、それから片方ずつ補助輪をとっていったと思います。それと同じで、少しずつ難しいことをしていくことがもう一度できるようになるポイントです。

FIT programでは、少しずつ難しいことをしていくという難しさの調節が簡単にできる環境をもっています。歩くことを考えてみます。最初の段階で、手足が動かしにくい患者さんは、訓練室の広い場所で安全に歩ける方法を覚えます。それができたら、病室というベッドや椅子や棚などある場所で安全に歩けるように練習します。この練習を、すぐにできる環境であるのがFIT programです。病室で歩けるようになったら、より生活にそった屋外、段差ごえ、じゅうたんの歩きなど難しい動作を行っていきます。

3. リハビリが行いやすい環境を提供しています

FIT programを行っている病棟は、病室をはさんで向かいに訓練室があります。病室と訓練室の間には、横6m、縦50mという明るくて広い廊下があります（下図）。（前ページにつづく）



七栗リハビリテーションセンター病棟

外来医師担当表

平成15年6月21日 現在

	月	火	水	木	金	土
内科 午前	三浦講師	浅井教授	山本医師	山本医師	山田講師	交代制
午後	三浦講師	浅井教授	山田講師	三浦講師	山田講師	—
外科	渡邊教授	村井医師	渡辺教授	村井医師	渡辺教授	交代制
リハビリテーション科	鈴木医師	園田教授	花村医師	清水医師	岡本医師	岡崎医師
東洋医学午前	栗岡講師	栗岡講師	—	栗岡講師	栗岡講師	栗岡講師
午後	栗岡講師	栗岡講師	—	—	栗岡講師	—
検査	腹部超音波	心臓超音波	—	腹部超音波	内視鏡検査	—
放射線科	CT	CT	消化器検査	CT	CT	—

講演会だより

七栗地区講演会

日時 平成15年7月16日（金）13時30分から

場所 七栗公民館 （栗葉小学校隣）

演題 『老いない身体づくり』

講師 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

リハビリテーション科 清水康裕医師

前回、前々回の地域講演会の様子



6月16日 津市雲出市民センター
健やかに老いるために

5月20日 久居市森集会所にて
元気生活 応援します
（転ばぬ先のつえ）

